

20170521 「罪人のための十字架」

目標：神の愛が注がれるとなぜ希望が失望に終わらなくなるのか考えることを通し、救いのすばらしさについての理解を深める。

聖書箇所：ローマ5：1-11 時間：10分

暗誦聖句：「そして、希望は失望に終わることはない。なぜなら、わたしたちに賜っている聖霊によって、神の愛がわたしたちに注がれているからである」（ローマ5：5）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：中1×1 小6×1 小4×3 小3×2 小2×1 小1×2 未就園児×1

留意点：子どもたちは信仰告白していないので、福音は聞いているが信じておらず、未だ義とされていない。故に、救われたら受けるものとして御言を提示し、信仰を促したい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>前はアブラハムも信仰によって神様に義と認められたという話をしました。</p> <p>今回の暗誦聖句を読んでみましょう。</p> <p>本日の御言は、イエス様を信じて救われた人が、いったいどういうものを神様からプレゼントされるのが記されています。</p>		<p>前回からの繋がりへの提示。</p> <p>ローマ5：5をみんなで読む。</p> <p>本時の課題の提示。</p> <p>子供たちは、あくまでもこれから救われる人たちなので、発話の時制に注意する。</p> <p>聖書本文が込み入っているため、恐らく説明できないだろうと思う。難しい御言葉であることをまずここで共有したい。</p> <p>御言（5：5）を文節で三つに分けたもの（そして-ない。・なぜなら-よって、・神の愛が-である。）をあらかじめ用意しておき、どうしたら一番解りやすいか尋ねながら、神の愛が～から、希望が失望に終わらないことを打ち出す。</p> <p>この問いは本時の中心的問いだが、答えは出にくいと思われる。でないことを確認した上で、次に進む。</p> <p>「希望」についての解説。</p> <p>「失望」についての解説。</p> <p>「希望」が「失望」に終わらない解説。この御業を（信じて）受け取る者には、希望が裏切られないというメッセージは自明のことである。</p> <p>受け取らない子どもがいる場合には、教師自身の「希望-失望」の感想を伝え、信じる事が出来るように祈りの時に触れると良い。</p> <p>なかなか難しいことを掴んでおきたい。</p> <p>わたしたちには出来ないようなことをなされたことを掴ませたい。</p> <p>189号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。</p>
課題探究	6分	<p>救われたら何が与えられると言っていますか。</p> <p>御言の並べ替えをしてみましょう。</p> <p>神の愛が私達の心に注がれていると、なぜ希望は失望に終わらないのでしょうか。</p> <p>ここで言われている希望とは、神様によって救われ、神の栄光をいただけると言う希望です。</p> <p>ここで言われている失望とは、救われ栄光を受けると言われたのに嘘でしたということです。</p> <p>失望に終わらないのは、私達が、神様を全く知らず（v8）敵（v10）だった時に既に、イエス様が進んで死んで下さり（v8）、私達の救いの道を切り開いてしまわれた事によります。</p>	<p>・解らない</p>	
まとめ	2分	<p>相手が悪いのに、それを赦したことはありますか。</p> <p>相手が悪かったと思ってもないうちに、赦してしまわれた、それがイエス様の十字架の御業です。</p> <p>皆さん是非イエス様の救いの御業を、自分のこととして考え、受け取ってほしいと思います。イエス様に希望を持つと、失望に決して終わりませんよ。</p> <p>暗誦聖句</p>	<p>・ない</p> <p>・妹が叩いてきたけど、赦した</p>	